「新任のご挨拶」

関西学院大学総合政策学部　教授　角谷　和俊

2015年4月にメディア情報学科に着任致しました。これまで、企業研究所（松下電器産業株式会社、［現］パナソニック）に11年、大学（神戸大学、京都大学、兵庫県立大学）に15年勤務しました。松下電器では、「家電製品のユーザインタフェースのためのソフトウェア開発環境」や「デジタル衛星放送のためのデータ配信モデル」の研究を行いました。松下電器在籍中に社会人ドクターとして博士号を取得し、その後神戸大学都市安全研究センター（専任講師・助教授）において「携帯端末を用いた都市情報配信システム」、「災害時の映像データからの3次元データの自動生成」などの研究テーマに取り組みました。京都大学では大学院情報学研究科社会情報学専攻（助教授）において、「Webコンテンツや放送コンテンツを融合した次世代デジタルライブラリの構築」、「意味構造発見に基づくWeb検索サービス方式」について研究を行いました。兵庫県立大学環境人間学部（教授）では、「ユーザの潜在的意図を用いたレス･コンシャス情報検索」、「電気通信サービスにおける情報信憑性検証技術」などの研究を行いました。

松下電器では、消費者が使いやすい製品・サービスをいかに提供できるかを目的とし、ユーザ目線での研究・開発に取り組みました。製品の設計者は機器の扱いに慣れているため、専門家にしか理解できないような機器操作手順を設計開発することが多いのですが、これを事前にコンピュータ上でシミュレーションして、一般ユーザでも理解できる操作手順になるように繰り返し設計し直せる開発支援システムを構築しました。神戸大学では、災害時の情報配信システムのために、ユーザが日頃使用している情報機器（携帯電話など）を用いることにより、特別な機器を使用しなくても災害情報を取得できるシステムの検討を行いました。京都大学では、爆発的に増加しているWebコンテンツや映像コンテンツなどを検索・視聴するためのメディア融合によるデジタルアーカイブシステムの構築を行いました。兵庫県立大学では、情報検索を意識しなくても情報取得ができる、ユーザの意図を推定して必要な情報を提示するためのシステムを開発しました。具体的には、検索エンジンにキーワードを入力してWebページを検索するのではなく、ユーザの操作履歴（例えば、オンライン地図の操作履歴など）から、ユーザの意図を推測し、必要なWebページを自動的に表示するというものです。また、インターネット上にある様々な情報から信頼性・信憑性の高い情報を抽出するための分析技術や、ブログやSNSを分析することで実社会の人々の動向や地域特性の解析方式について検討しました。

今後の研究テーマとしては、Webコンテンツ、映像コンテンツ、およびSNSなどの異種メディアを融合することによって新しいメディアを創り出し、より有用な社会情報基盤を構築することを目指します。このようなクロスメディア（cross-media）・コンテンツ環境の分析・設計を「社会情報デザイン」と名付け、この研究分野を創成したいと考えております。メディア情報学・計算機科学は他の学問分野と連携することで、社会での有用性を高めることが可能となります。総合政策学部には様々な学問分野の先生方がおられますので、社会科学・人文科学がご専門の先生方とも協同して新たな研究トピックに取り組みたいと存じます。今後ともご指導ご鞭撻の程宜しくお願い申し上げます。